

下関市入札監視委員会（第18回）審議概要

開催日時	平成21年8月26日 13:30		
場所	下関市勤労福祉会館 第4会議室		
委員	中谷正行（弁護士） 太田周二郎（大学教授） 岡孝（高等学校教諭） 藤本博美（ファイナンシャルプランナー）		
審議対象期間	平成21年4月1日 ～ 平成21年6月30日		
審議対象総件数	65件	（抽出工事名称）	
抽出案件	条件付一般競争入札	30件	新港地区埋立護岸（内護岸）整備工事
	指名競争入札	22件	川中地区浸水対策工事
	随意契約	13件	下関市立川中中学校校舎棟（第1工区）木内装工事
指名停止等の運用状況	4件4社		
議事概要及び委員からの意見・質問、それに対する回答等	議事項目、意見等	別紙のとおり	
	議事結果、回答	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし		

別紙

議事項目、意見・質問	議事結果、回答
<p><b>入札方式別発注工事総括表及び一覧表</b></p>	
<p>・総合評価方式について、どのような基準で発注するのか。</p>	<p>・審査委員会に諮り決定する。国、県の補助事業は出来るだけ総合評価方式でという意向もあり、契約室で素案を作成し審査委員会で判断して決定する。</p>
<p>・優良業者指名競争入札について、選定基準はあるのか。</p>	<p>・工事内容等を設計担当課と協議して決めるが、担当課から契約室に優良業者指名の依頼が出たものについて、契約室で判断して発注している。優良業者は、工事成績、ISO 基準地域貢献などを併せて判断する。</p>
<p><b>新港地区埋立護岸（内護岸）整備工事</b></p>	
<p>・コンクリートを使用せず、合成ケーソンを使用した理由は。</p>	<p>・規模が比較的大きいことや、コンクリートケーソンと比べておよそ5万㎡程度多く土が入ることなどからである。なお合成ケーソンは全国的にもよく使われているものである。</p>
<p>・入札の参加は市内の業者が対象か。また、ケーソンはどこで作られたものか。</p>	<p>・市内に本店又は契約締結権のある営業所等がある業者を入札参加者とした。ケーソンは山口県内で作られたものである。</p>
<p>・設計金額の算出方法は。</p>	<p>・一般的には、標準歩掛表によって作る。本来、設計金額＝予定価格だが、談合防止のため、本市では電子くじを採用しているため、設計金額と予定価格に差ができています。</p>
<p>入札参加業者は2社のみだが、妥当か。</p>	<p>・5社程度入札参加者がいると予想していたが、市内業者では一般的でない工法のため、結果として2社となったが、2社が応札したことで、競争性は図れたと考えている。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共事業の設計額は、一般の相場より高いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的な工事の仕様にに基づき、十分利益が得られるよう設計しているためと考える。</li> <li>・なお、入札により競争性は保たれており、適正価格になっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札条件の一つに、施工実績として同種で概ね設計金額の1/2程度の1億円以上の工事实績とあるが、概ねは1/2に係るか、それとも金額にも係るのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計金額の概ね1/2であり1億円の概ねではない。よって1億円未満の実績は不可である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低制限価格とは何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンピング受注対策として、最低制限価格制度を採用している。入札参加者の下位10社の平均の9割を最低制限価格とし、それを下回れば即失格とする制度である。公共工事の品質の確保に努める狙いもある。</li> </ul>
<p><b>川中地区浸水対策工事</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水被害とは具体的にはどのような被害であったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水面積が約1.7ha、床下浸水が3戸であった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の具体的な場所はどの辺りか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道191号線から川中中学校方面に入り学校に隣接し一番低く窪んだところ。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低制限価格未済や予算超過した入札業者があるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計価格は公表しているが、予定価格は電子くじにより決定しており、いずれも見込み違いによるものと思われる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開札した結果は、公表しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公表している。ホームページで閲覧が可能。</li> </ul>
<p><b>下関市立川中中学校校舎棟(第1工区)木内装工事</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・この工事は、本体工事の延長か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本体工事の延長ではなく、別工事として発注しているが、本体工事業者と同業者が施工するとことで円滑な施工が見込まれる。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本体工事に含めることはできなかったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山口県からの交付金を活用した工事であり別工事として本年度中に事業着工することが必要であったため、本体工事として含めることはできなかった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札書等比較価格とは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入札額を比較するためのもの。税抜き金額。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どの部分に木が使われのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に図書室の壁、天井のルーバー、木製階段などに使用している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の補助率はいくらか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業費の1 / 2 補助である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の負担は事業費の1 / 2 か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の負担分には、実質は起債を充てるので数十万程度の見込みである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1工区、第2工区に分かれているのは、なぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工区が分かれたのは、予算の都合による。第1工区にはラーニングセンター、第2工区にはランチルーム等が入っている。</li> </ul>